

様式第1

令和4年3月18日

倫理審査申請書

倫理委員会委員長殿

申請者 小林 由貴



所属 リハビリテーション科

所属長氏名

横田 剛



受付番号 237

1. 申請件名	クロスカントリースキー競技 傷害調査
2. 申請理由	クロスカントリースキー競技に取り組んでいる選手の傷害実態を明らかにするため、傷害調査を実施する。
3. 申請案件の概要	1996年、馬場らにより報告された傷害調査では、腰部に疼痛が最も多く発生しているとされている。しかし、近年の傷害調査の報告は少なく、また国内においてジュニア期を対象とするものは存在しない。クロスカントリースキー競技の傷害実態を明らかにすることにより、傷害予防への理解を深め、国内クロスカントリースキー競技力向上へ繋がると考える。
4. 対象	2022年3月26日 FIS 国際スキー連盟公認・全日本スキー連盟公認 十日町クロスカントリースキー大会出場予定選手から選出した329名の小学生～成人
5. 実施場所	アンケートを用いる
6. 院外の共同研究者	なし
7. 倫理的配慮について（(1)～(4)は必ず記入のこと）	(1) 対象者個人の人権擁護 調査で得られた個人情報には調査者以外に知らされず厳重に管理される。回答いただいた内容は調査以外に使用されない。 (2) 対象者の理解と同意を得る方法（「説明と同意書」があれば添付） 書面（別紙添付）にて、傷害調査の説明を行い、対象者への署名をもって同意を得る、対象者が未成年の場合、保護者の署名とする。 (3) 個人への不利益・危険性、及び対応策 予想される不利益としては、アンケートへ回答するための時間的拘束・傷害を負った際の辛い経験を想起させる。アンケート用紙の質問事項は最小限に留める。

(4) 費用負担

申請者が負担し、対象者に一切の負担は発生しない。

(5) 医学上貢献の予測

傷害実態を明らかにすることで、傷害予防への理解や意識を深め、国内クロスカン트리スキー競技の発展を期待する。

(6) その他

通知年月日

通知番号